

## 2022年度 パレット保育園・大和 事業報告書

### ●保育理念

“ひとりひとりに生きる力を！”

1. ひとりひとりを「大きな家族」の一員として認め、役割を認識させ、愛情を持って育てます。
2. ひとりひとりの子どもを見極め、発達段階に応じ、「感性・知性・体力を培う」三位一体のバランス保育・教育を信条として育てます。
3. ひとりひとりが意欲的な生命力を発揮できるよう「自立と自尊と自律」の精神を大切に育てます

### ●保育の目標

スタッフは園児が喜びをもって自発的に活動できるような言葉かけをし、自らがお手本となるような行動をとる。

スタッフは子どもたちの安全・安心で健康的な生活を確保し、主体性を尊重しながら保育する。

スタッフは家族の一員としてお互いを認め合い、子どもたちの成長のために、全員で一人ひとりの子どもたちを受けとめていく。

### ●保育の方針

「保育所保育指針」に準じ、保育・養護の視点と発達・教育の視点で、「健康」・「人間関係」・「環境」・「言葉」・「表現」の五領域を縦断的にとらえ、子どもの成長に合せ、子どもの力を最大限に引き出すよう努めます。

1. スタッフの基本行動原則「丁寧・賞賛・感覚・微笑・予習＝余裕」に基づき、保育者チームは、大きな家族の構成員として見守る保育を実践します。
2. “個性豊かで元気な頭の良い子”を願う保護者のニーズに応えられる「幼児プログラム」を実践します。幼児教育プログラム実践の要諦は、子ども自身の「意欲」です。「やりたい、知りたい」という好奇心を大切にします。
3. 自分のことはできる限り自分でできる喜びを得る、そして最後までやり抜く、頑張れる「自立支援」保育を実践します。
4. 縦割り実践教育形態を通じ、小さな子、弱い子を思いやれる、仲間との関係を大切にする、など他者との中で「自律」する力をつける保育を実践します。
5. 自分は愛されている、そして、頑張ればやり通すことができるという「自尊感情」を育み、人間の土台づくりをする保育を実践します。

## 1. 中期事業計画のテーマ

- 経営の安定化
- 選ばれる保育園づくり

## 2. 園目標

選ばれる保育園づくり

## 3. 原因分析

### 達成または未達成の原因および次年度への課題

外部の研修は少しずつ増えてきたように感じるがコロナ禍により、まだまだ少ない状況であった。又、計画的に進められない状況であった。内部の研修は計画的に行うことができ、気になる子や緊急時対応などより現場で実践的な研修を進めることができた。

地域と密着した保育園づくりとして、社会見学やハロウィンなど保育園の認知が広がる取り組みをすることができた。次年度はさらに強化し、地域と連携した保育園づくりを進めていくようにしたい。

## 4. 開所日及び開所時間

事業	開所時間
平日	7:00~20:00
土曜日	7:00~18:00
休園日	日・祝日・12/29~1/3

## 5. 定員数

### ・利用定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
6	8	10	12	12	12	60

## 6. 年間行事実施日

月	行事等の名称	対象者
5月14日	親子レクリエーション	園児とその保護者
6月11日	個人面談	園児とその保護者
7月8日	夏祭り	園児
10月22日	運動会	園児とその保護者
11月2日	パレット学習タイム参観	園児とその保護者
1月14日	個人面談	園児とその保護者
2月18日	発表会	園児とその保護者

3月4日	入園説明会	入園児とその保護者
3月21日	卒園式	卒園児とその保護者
3月25日	進級説明会	進級園児とその保護者

## 7. SDGs に係る取り組み結果

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●質の高い保育の実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の保育のふりかえり、ミーティングによる気づきの共有</li> <li>定期的なミーティングにて議題にすることにより、自身の保育の振り返りや価値観の共有をすることができた。</li> </ul> </li> <li>●気になる子支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床心理士による定期的な巡回。個別支援計画による対応方法の実施</li> <li>定期的な巡回を重ね、園内会議での研修やミーティングなどでより良い支援を行ったり、技術の向上につながった。</li> </ul> </li> <li>●質の高い給食の提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>・食育の提案、遊びごころのある盛り付けを工夫</li> <li>・年2回の給食全体会議実施や昼礼にて毎日の給食メニューの振り返り</li> <li>給食会議や社内報を活用し、多様な意見を反映しながらより良い給食の提供ができた。</li> </ul> </li> <li>●能力開発プログラムの実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週の週案に落とし込み、カリキュラムとして実施</li> <li>・やったねポスターを使用し、楽しみながら積極的にやるよう実施</li> <li>計画的に行うことができた。</li> </ul> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●出産・育児にかかる制度 <ul style="list-style-type: none"> <li>・出産・育児にかかる休暇の規程を設けている</li> <li>該当者が計画的に取得を行っている。</li> </ul> </li> <li>●介護に係る制度 <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護にかかる休暇の規程を設けている</li> <li>要件を満たす該当者はなし。</li> </ul> </li> <li>●充実した休暇制度 <ul style="list-style-type: none"> <li>・希望に沿った休暇を取得できるしくみの導入</li> <li>希望を極限まで叶えた休暇取得の実施。</li> </ul> </li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●働き方向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の見直し、再考</li> </ul> <p>行事では、振り返りをし、会議で話し合う場を設け、業務改善に努めた。</p> </li> <li>●充実した年間研修計画 <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な研修を優先的に実施</li> </ul> <p>可能な限り研修への参加を促す。研修計画を元に優先度を選定した。</p> </li> <li>●キャリアパスの設定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来を見据えた育成計画</li> </ul> <p>できたかな表を使用しての目標達成度の把握を出来た。</p> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域交流p j <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でも交流できるオンラインの導入</li> </ul> <p>オンラインを積極的に導入した行事の運営出来た。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会見学や他園との交流活動</li> </ul> <p>新たな社会見学の開拓や交流活動の実施が出来た。</p> </li> <li>●虐待防止、貧困対策への貢献 <ul style="list-style-type: none"> <li>・要保護家庭に対する行政との情報共有</li> </ul> <p>すくすく子育て、児相との連携により虐待防止に努めた。今年度は要保護児童対策地域協議会を2回実施。</p> </li> <li>●地域ボランティアの積極的な受け入れ <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターンシップの積極的な受け入れ</li> </ul> <p>今年度は募集なし。</p> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●食品ロスの低減 <ul style="list-style-type: none"> <li>・人数に合った発注の見直し</li> </ul> </li> <li>●照明のLED化推進によるCO2排出の削減 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全灯LED化による電気使用量の削減</li> </ul> <p>実施済み。</p> </li> <li>●設備チェック・整備による使用寿命延長 <ul style="list-style-type: none"> <li>・不備に対する迅速な対応。</li> </ul> <p>業務管理課と常に連携を取り実施した。</p> </li> <li>●省エネ・節電 <ul style="list-style-type: none"> <li>・有限エネルギーを意識した保育生活</li> </ul> <p>室温、湿度を適宜把握し、省エネに努めたが、コロナ過で窓開け等もあり出来なかった。</p> </li> <li>●エコ活動・リサイクルを取り入れた保育 <ul style="list-style-type: none"> <li>・資源を意識した活動の取り組み</li> </ul> <p>廃材製作の実施を行った。</p> </li> </ul>

## 8. 保護者との連携の報告

- ・ コドモンによる家庭との日々の連絡をおこなった
- ・ 個人面談で園児ひとりひとりの成長や園での様子を報告した
- ・ 親子レクレーションでは、クラスの様子を伝え、クラスごとの結果や育ちを報告した  
保育参観がコロナ禍により未実施。来年度実施を検討。

## 9. 第三者評価に対する取組（もしくはサービス向上に向けた取組）

- ・ 5年に1回、第三者評価を受審
- ・ 姉妹園施設長による環境整備チェックを実施  
ゴミ箱蓋つき、滑り止めシートの設置。

## 10. セルフモニタリングの実施報告

- ・ 園内での怪我や園児による喧嘩などの報告を都度おこなった
- ・ 職員会議や昼礼で、共有した
- ・ 事故防止・園外保育マニュアルを見直し、研修をおこなった

## 11. 苦情対応・解決の取組

- ・ 園で独自の苦情解決窓口を設置し、解決への取り組みを図った
- ・ 苦情申し立ての流れを保育園の玄関に掲示した
- ・ 第三者委員の連絡先を掲示した

## 12. 職員の研修

- ・ 新卒採用については法人本部にて初期研修をおこなった
- ・ 新卒については、配属前に現場研修おこなった
- ・ 年間研修計画に基づき、園内研修を実施した
- ・ 個人ごとの研修計画・記録一覧に基づき、行政等主催の研修に参加した
- ・ 給食、事務スタッフは年2回の全体研修を実施した

## 13. 職員の労働条件・労働環境保持のための取組

- ・ 就業規則、賃金規程、36、32、24協定を制定し、労働基準監督署へ届け出た
- ・ 育児休暇、介護休暇について制定
- ・ 退職金規程を制定
- ・ 法人総務部にて、雇用管理の改善等に関する事項にかかる相談窓口を設置

## 14. 児童・職員の健康管理

- ・ 園児の健診については年に2回学校保健安全法に規定する健康診断に準じて実施した
- ・ 職員の健康診断は4月、5月、6月に順次受診（人間ドック希望者は個々受診）した
- ・ 中途採用者の場合は、採用前に実施・未実施の確認した

- ・ 感染症予防・衛生管理マニュアルに基づき、研修および感染症の予防に努めた
- ・ 園内で発生した場合は、速やかに掲示またはメール配信にて、保護者へ状況説明した
- ・

## 15. 安全安心に対する取組

### (1) 事故の防止策と対応策

- ・ 全スタッフ配布のハンドブックに「安全に関する規定」等を掲載し、職員に周知した
- ・ 事故防止・園外保育マニュアルにて研修を実施した
- ・ 1年に1度マニュアルの見直し・改定をおこなった
- ・

### (2) 不審者対策

- ・ 不審者対策を目的とした避難訓練を年に1回以上実施した
- ・ 不審者対応マニュアルにて研修を実施した
- ・ 1年に1度マニュアルの見直し・改定をおこなった

### (3) 防火・防災対策

- ・ 毎月避難訓練および消火訓練を実施した
- ・ 消防用設備の点検については専門業者へ委託し、年に2度実施した
- ・ 危機管理マニュアルにて研修を実施した
- ・ 1年に1度マニュアルの見直し・改定をおこなった

## 16. 虐待防止の取組

- ・ 児童虐待対応マニュアルにて研修を実施した
- ・ 希望職員は外部研修へ参加し、研修内容を職員に共有した
- ・ 他におこなったこと、できなかったことや課題を記載

## 17. 給食に対する取組

- ・ 給食マニュアルにて研修を実施した
- ・ 物語メニュー、あそびごころのある盛り付けチームにて給食の質を向上に努めた
- ・ 年に2回全体研修をおこない、スキルアップを図った